

小金井市長期計画審議会

配付資料一覧

平成21年12月3日

	No.	資料名	備考
第1回 (6月12日)	1	小金井市長期計画審議会条例	資料1
	2	小金井市長期総合計画策定本部設置要綱	資料2
	3	小金井市市民参加条例(抜粋)及び同施行規則(抜粋)	資料3
	4	小金井市長期総合計画策定方針	資料4
	5	長期総合計画に係る討議要綱	資料5
	6	長期計画審議会のスケジュールについて	資料6
	7	小金井市長期総合計画(第3次小金井市基本構想・後期基本計画)	参考資料1
	8	同上 概要版	参考資料2
	9	平成20年度小金井市長期総合計画策定のための市民意向調査報告書	参考資料3
	10	同上 概要版	参考資料4
	11	こがねいデータブック2008(旧名:小金井市の現況'04)	参考資料5
	12	こがねい市民討議会2008実施報告書	参考資料6
	13	長期総合計画策定に係る「子ども懇談会」開催結果	参考資料7
	14	市勢要覧2008	参考資料8
	15	わたしの便利帳	参考資料9
	16	小金井市長期計画審議会委員名簿(第4次)	参考資料10
第2回 (7月15日)	17	基本構想の策定要領について(通知)	資料7
	18	多摩26市の基本構想の構成について	資料8
	19	市民の参加・協力による市内イベント一覧	資料9
	20	長期計画審議会における検討の流れについて	資料10
	21	市内視察予定表	参考資料11
	22	辞任願(写)	参考資料12
	23	長期計画審議会の「会長辞任」について	参考資料13
	24	会議録の調製について	参考資料14
	25	長期計画審議会 工程表	委員提出資料1 (三橋委員)

第3回 (8月3日)	26	多摩26市の基本構想の構成について	資料11
	27	市民意向調査における住み心地・定住志向に係る比較結果について	資料12
	28	踏まえるべき社会潮流について	資料13
	29	市民参加の全体像について	資料14
	30	長期計画審議会における検討の流れについて	資料15
	31	長期計画審議会工程表	資料16
	32	会議結果の作成について	参考資料15
	33	「討議要綱」についての質問	委員提出資料2 (鮎川委員)
	34	踏まえるべき社会潮流についての意見	委員提出資料3 (吉良委員)
	35	こがねいデータブック2008についての質問と意見	委員提出資料4 (吉良委員)
	36	討議要綱「踏まえるべき社会潮流」等についての意見	委員提出資料5 (鴨下委員)
	37	こがねいデータブック2008に関するコメント	委員提出資料6 (永田委員)
	38	「踏まえるべき社会潮流」等への意見について	委員提出資料7 (三橋委員)
	39	長期計画・討議要綱への意見	委員提出資料8 (五十嵐委員)
第4回 (8月31日)	40	第4次小金井市基本構想(素案)前半	資料17
	41	小金井市長期計画審議会(第3回)質問及び回答	資料18
	42	小金井ボランティア・市民活動団体パンフレット	参考資料16
	43	踏まえるべき社会潮流	委員提出資料9 (玉山委員)
	44	社会潮流(社会経済構造の変化)について	委員提出資料10 (三橋委員)
第5回 (9月17日)	45	第4次小金井市基本構想(素案)前半についての意見	事前配布資料 鮎川委員
	46	長期計画審議会・基本構想(素案)前半への意見	事前配布資料 五十嵐委員
	47	「長期計画審議会・基本構想(素案)前半」について	事前配布資料 鴨下委員
	48	こがねい市民討議会2009 実施報告書	当日配布資料
	49	小金井市長期計画起草委員会設置要綱	当日配布資料
	50	第4次基本構想(素案)前半の構成について	当日配布資料
	51	第4次小金井市基本構想(素案)前半	当日配布資料 淡路委員
	52	社会潮流(社会経済構造の変化)について	当日配布資料 三橋委員
	53	素案の骨格を考える上での各項目の要約(キーワード)	当日配布資料 三橋委員

第6回 (10月7日)	54	「協働」について	事前配布資料 渡辺委員
	55	小金井市協働推進基本指針	事前配布資料
	56	第4次小金井市基本構想（素案）後半（施策の大綱等）	事前配布資料
	57	第4次小金井市基本構想（素案）前半についての意見	当日配布資料 玉山委員
	58	市民懇談会の概要及び広報について	当日配布資料
	59	第3次基本構想・後期基本計画の主な事業及び評価について	当日配布資料
	60	第4次基本構想・前期基本計画の施策の体系	当日配布資料
	61	基本構想の目的と策定意義・役割	当日配布資料 淡路委員
	62	基本構想の枠組み	当日配布資料
第7回 (11月11日)	63	小金井市長期計画審議会意見	当日配付資料 三橋委員
	64	第4次小金井市基本構想（素案）後半についての意見	当日配付資料 今井委員
	65	第4次小金井市基本構想（素案）後半についての意見	当日配付資料 鴨下委員
	66	第4次基本構想（素案）第6章修正案（一部）	当日配付資料 淡路委員
	67	第4次小金井市基本構想（素案）修正案	当日配付資料
	68	基本構想の構成	当日配付資料 三橋委員
第8回 (12月3日)	69	第4次基本構想（素案）修正案に対する長期総合計画策定本部での意見について	事前配付資料
	70	第4次小金井市基本構想についての意見	事前配付資料 鮎川委員
	71	長計審への意見	事前配付資料 町田委員
	72	第4次小金井市基本構想（素案）修正案	事前配付資料 三橋委員
	73	第4次小金井市基本構想についての意見	事前配付資料 鮎川委員
	74	第4次小金井市基本構想（素案）修正案	当日配付資料
	75	施策の大綱・福祉と健康について	当日配付資料 玉山委員
	76	将来像修正案	当日配付資料 三橋委員
	77	行政経営と最適の訂正	当日配付資料 淡路委員
	78	市民懇談会の概要について	当日配付資料

第 4 次基本構想（素案）修正案に対する長期総合計画策定本部での意見について

1 下線部分の訂正について（太字ゴシックが要調整項目）

頁	行	長期計画審議会案	訂正案	訂正理由
1 2	下か ら 3	引き続き <u>それらの</u> 施設周辺にお住まいの皆様や関係者のご理解をいただけるよう努めます。	引き続き施設周辺にお住まいの皆様や関係者のご理解をいただけるよう努めます。	文言の整理（失礼に当たると受け取られる場合も考えられるため）。（ごみ処理施設担当）
1 3	1 4 ～ 1 5	みどりの <u>連担軸</u> を形作るなど	みどりと <u>水のネットワーク形成を進める</u> など	都市マスタープラン等、他計画との整合性を図るため。（都市整備部、一部修正企画政策課）
1 6	1 8	<u>市民と行政の参加と協働</u> により、	市民の参加と協働により、	語句の整備（広報秘書課）
1 8	9	また、ノーマライゼーション（要解説）の推進による高齢者・障害のある人も安心してく らせる <u>ユニバーサルデザイン（要解説）</u> による <u>まちづくり</u> や、	また、ノーマライゼーション（要解説）の推進による高齢者・障害のある人も安心してく らせるユニバーサルデザイン（要解説）に配 慮した <u>まちづくり</u> や、	ユニバーサルデザインは大変広い概念であるため、福祉の推進という観点から。（障害福祉課）
1 8	2 1	子どもがさまざまな体験と仲間づくりができる <u>場を整備する。子ども施策に当たってはそれらの計画段階からの子ども自身の参画を進める等の子育てを支援するとともに、</u>	子どもがさまざまな体験と仲間づくりができるよう支援の充実を図ります。 <u>子どもの自主性をはぐくむ子育てを支援するとともに、</u>	体験と仲間づくりは、児童館事業や健全育成事業等で既に実施されているため。また、子ども施策策定の部分は、子どもの自主性をはぐくむという趣旨・目的を明確にするため。（児童青少年課）
1 8	下か ら 6 ～ 5	障害のある人が尊厳を持ち、安心して、希望を持って社会生活が営めるよう、 <u>それぞれの声を聴きながらノーマライゼーションの推進</u> を図るとともに、	障害のある人が尊厳を持ち、安心して、希望を持って社会生活が営めるよう、 <u>障害のある人等のニーズを十分に踏まえながら、ノーマライゼーションの推進</u> を図るとともに、	対象を明確化するため。「障害のある人等」の「等」には、家族・団体・支援者が含まれる。（障害福祉課）
1 9	1	生活困窮者を保護して <u>その人権が尊重される</u> 適切な支援を行う。	生活困窮者を保護して、適切な支援を行う。	人権の尊重は、生活困窮者だけでなく、全ての国民が対象であるため。（地域福祉課）
1 9	7	<u>わかりやすい広報</u> やかかりつけ医の普及を進めるとともに、	<u>情報提供の充実</u> やかかりつけ医の普及を進めるとともに、	用語の整備（広報秘書課）

2 その他内容の訂正について（太字ゴシックが要調整項目）

頁	行	長期計画審議会案	訂正案	訂正理由
3	10	災害時には安全確保の役目を果たしていません。	災害時には安全確保等、 <u>多面的な</u> 役割を果たしています。	役割の多面性を明確にするべきであるため。（経済課、一部企画政策課変更）
3	13 ～ 14	また、特別緑地保全地区として滄浪泉園が指定されています。	また、特別緑地保全地区として滄浪泉園が指定されています。 <u>しかし、緑地全体では、大きく減少しています。</u>	長期計画審議会の意見に基づき、緑地全体の減少を明確にするため。（企画政策課）
3	16 ～ 18	武蔵小金井駅南口第一種市街地再開発事業、東小金井駅北口土地区画整理事業では、みどりの創出に向けた整備が進められています。	武蔵小金井駅南口第1地区第一種市街地再開発事業、東小金井駅北口土地区画整理事業では、みどりの創出も踏まえた整備が進められています。	事業名の訂正。みどりについてはその創出だけが目的ではないため。（開発事業本部）
3	下か ら6 ～1	平成19年度に <u>最高値</u> を更新した人件費比率は、さらに1.9ポイント減の22.0%となりましたが、財政構造の弾力性を示す経常収支比率は、96.5%となっております。 しかし、多摩26市平均と比較すると、経常収支比率は多摩26市平均 <u>91.4%</u> に対して <u>92.3%</u> 、公債費比率は <u>8.3%</u> に対して <u>8.7%</u> 、人口1人当たりの財政調整基金現在額は <u>17,442円</u> に対して <u>17,345円</u> に留まっています。	平成19年度に <u>ベスト数値</u> を更新した人件費比率は、平成20年度にはさらに1.9ポイント減の22.0%となりましたが、財政構造の弾力性を示す経常収支比率は、96.5%となっております。 しかし、多摩26市平均と比較すると、経常収支比率は多摩26市平均 <u>91.9%</u> に対して <u>96.5%</u> 、公債費比率は <u>7.4%</u> に対して <u>7.6%</u> 、人口1人当たりの財政調整基金現在高は <u>16,745円</u> に対して <u>18,261円</u> となっております。	用語の整理、最新の数値に変更等。（財政課）
5	12 ～ 13	市内のみどりは %減少しています。	市内の <u>緑地と農地</u> は減少しています。	都市農地の減少についても、環境上の課題として明確にするべきであるため。（経済課、一部修正企画政策課）
5	13 ～ 14	これまでと同様な施策ではこの傾向を改善することは難しく、抜本的な対策を実施する必要があります。	<u>こうした傾向を改善するため、現在あるみどりを保全するとともに、新たなみどりを創出する必要があります。</u>	抜本的な対策というより、第3次基本構想の施策体系と同じく、保全と創出により対応するものであるため。（企画政策課）
5	下か ら8 ～7	駅前広場や文化ホールの活用、商店街の活性化など、ソフト面での取組が求められています。	<u>コミュニティ広場や（仮称）市民交流センター</u> の活用、商店街の更なる賑わいへの取組が求められています。	語句の整備。（仮称）市民交流センターについては、ホールだけでなく、ギャラリー等を含めた施設全体の活用が求められているため。

				(再開発事業本部)
5	下から7～4	また、北口や第2地区の再開発、東小金井駅北口についても、地権者や市民の意向を踏まえつつ、着実に整備を進めていく必要があります。	また、 <u>第2地区の再開発の着実な事業化や東小金井駅北口土地区画整理事業の地権者等の協力を得ながらの推進が求められています。</u> 武蔵小金井駅北口及び東小金井駅南口の再整備については、 <u>市民の意向を踏まえて進めていく必要があります。</u>	東小金井駅北口土地区画整理事業は事業実施中、武蔵小金井駅南口第2地区の再開発は計画中、武蔵小金井駅北口は構想段階であり、記述を区別する必要があるため。また東小金井駅南口についても一定度の記述が必要であるため。(都市整備部、開発事業本部)
6	下から9	【特徴】	【特徴】 <u>特徴ある施策と財政状況の改善</u>	特徴の見出しが欠落しているため補足。(企画政策課)
6	下から8	全国に先がけた学校の耐震化を実施や「こきんちゃん」を活用したあいさつ運動など、	<u>学校施設の早期耐震化</u> や「こきんちゃん」を活用したあいさつ運動など、	都内では中程度での実施であり、「全国に先がけた」という程のものではないため。(学校教育部)
13	15	市街地づくりをめざします。	市街地をめざします。	「つくることをめざす」とはどういう意味か。語句の整備。(開発事業本部)
14 ～ 15	下から2 ～1	市民ニーズを把握して、新たな出店・サービスを拡充して、地域を支え、地域に支えられる魅力ある商業・商店街づくりを進めます。	市民ニーズに <u>対応した</u> 新たな出店・サービスを <u>促進</u> して、地域を支え、地域に支えられる魅力ある <u>商業・商店街づくり</u> による、 <u>にぎわいの創出</u> を進めます。	新たな出店・サービス及び商業・商店街づくりの主体は商店・商店会・商工会であり、市はそれを支援するものであるため。(経済課、一部企画政策課変更)
16	10	トップレベルの学力を誇っています。	<u>高い学力水準</u> となっています。	「誇っている」は少々いやらしいという意見もあったため。(指導室)
16	下から4	大規模な図書館中央館、公民館及び(仮称)貫井北町地域センターの整備等、	<u>市民ニーズ</u> に対応した図書館本館、公民館及び(仮称)貫井北町地域センターの整備等、	新たな図書館のあり方については、市民参加で今後検討されることであるため。(企画政策課)
17	10 ～8	学校教育の計画的推進により、児童・生徒一人ひとりが夢を持っていきいきと学習できるよう、時代に即した教育内容、特別支援教	<u>児童・生徒一人ひとりが夢をもって生き生きと学べるような学校教育</u> を計画的に推進します。 <u>そのために、時代に即した教育内容は</u>	① 出だしの文を入れ替えた方が分かりやすい。 ② 文を2つに区切った方が分かりやすい。

		育、児童生徒及び教育の心と身体のケア、教職員の研修・研究の充実を図ります。	もちろんのこと、児童・生徒及び教員の心と身体のケアや教職員の研修の充実を図ります。	③ 特別支援教育は前の「教育内容」に含まれるためカット ④ 研修・研究は、まとめて「研修」という考え方であるので研修だけの表現でよい。 (指導室)
--	--	---------------------------------------	---	---

3 書式・用語の整備等について

頁	行	長期計画審議会案	訂正案	訂正理由
1	14	新ごみの処理施設	新ごみ処理施設	5ページや7ページでは「新ごみ処理施設」となっているため。また、「新」が「ごみ」にかかり日本語として「新しいごみ」となりおかしいのでは。(開発事業本部)
2 3	下から10、 11 及び 12	公園等 公園・緑地等 公園等	公園・緑地	語句の整備。「等」が何を指すのか不明。どこまでの緑を入れるかによっては、1割弱といえなくなるのでは。また、緑の定義があいまいになる。(開発事業本部)。
4	12 ～ 11	一方で、団塊の世代の大量退職や高齢者の増加による新たな需要の創出や地域社会の担い手の役割も期待されています。	一方で、団塊の世代の大量退職や高齢者の増加により <u>新たな需要が創出されると共に</u> 、地域社会の担い手の役割も期待されています。	用語の整備 (広報秘書課)
5	下から9	武蔵小金井駅南口第1地区の「まちびらき」が行われましたが、	武蔵小金井駅南口第1地区 <u>市街地再開発事業</u> の「まちびらき」が行われましたが、	事業名を正確なものとするため。(企画政策課)
6	17	D 参加と協働の推進	ゴシックで	書式の整備 (学校教育部)
6	下から10	E 行政サービスと行財政改革	ゴシックで	書式の整備 (学校教育部)
7	7	(公債残高の抑制)	(<u>地方</u> 債残高の抑制)	用語の整備 (財税課)
11	下から7	市民ひとりひとりが安心してくらししていくために	市民 <u>一人</u> ひとりが安心してくらししていくために	用語の整備 (広報秘書課)

1 1	下から5	バリアフリーのまちづくりに高い関心を持っています。	福祉のまちづくりに高い関心を持っています。	「バリアフリー」の語は、環境と都市基盤で出てきており、重複を避けるため。(開発事業本部)
1 2	7	本市のみどりは減少し続けてます	本市のみどりは減少し続けています。	用語の整備 (広報秘書課)
1 2	1 5	武蔵小金井駅・東小金井駅周辺の市街地及びさらなる都市計画道路の整備や、	武蔵小金井駅周辺・東小金井駅周辺の市街地整備及び都市計画道路等の整備や、	市街地整備で1つの単語とした方が分かりやすいため。(開発事業本部)
1 3	下から5	人にやさしい交通環境の整備を図ります。また、駅前広場の整備、バス輸送の見直し、	人にやさしい道路環境の整備を図ります。また、駅前広場の整備、バス輸送の充実、	用語の整備。この項目以前は、道路について説明しているため。バス輸送については路線バスも含むため。(都市整備部)
1 4	7	本市の特性にあった創造的産業の育成	本市の特性に合った創造的産業の育成	用語の整備 (広報秘書課)
1 5	2	魅力あるイベントを進め、地域資源を活かした観光を推進します。	魅力あるイベントや地域資源を活かした観光を推進します。	用語の整備 (広報秘書課)
1 5	8	認定農業者制度を推進する等、	認定認証農業者制度を推進する等、	用語の整備 (経済課)
1 5	1 1	さらに、営農者や農業団体・市民の協力により、	さらに、 <u>農業者</u> や農業団体・市民の協力により	用語の整備 (経済課)
1 6	1 9 ～ 2 0	(仮称) 市民交流センターやはけの森美術館の文化施設を効率的に運営し、	文化施設である(仮称) 市民交流センターやはけの森美術館を効率的に運営し、	用語の整備 (広報秘書課)
1 6	下から8	環境整備を図るとともに、生涯を通じた男女の心身の健康支援の充実を図ります。	環境整備や生涯を通じた男女の心身の健康支援の充実を図ります。	① 2行目、その上の文章も「・・・とともに」が使用されているので、この文はカット ② 文末の表現が「・・・図る」「図ります」と同じ表現なので、一つにまとめる。(指導室)
1 6	下から2	情報提供やネットワークの整備を図り、	情報提供やネットワークを整備し、	「図る」「図り」と同じ文に2回使用されており表現を変える。(指導室)
2 0	2～3	絆が結ばれる	絆を <u>結ぶ</u>	表記の統一 (財政課)

4 その他意見等

頁	行	長期計画審議会案	訂正案	訂正理由
---	---	----------	-----	------

6	下から4	市の財政の危機的状況を脱却し、経常収支比率が多摩26市の平均的な水準まで回復しており、財政状況は改善されつつあります。税収に占める個人市民税の割合が高く、法人市民税等に比べて、経済情勢の影響を受けにくく、税収が比較的安定しています。		タイトルが行政サービスと行財政改革なので、第2次行財政改革大綱についての記述とした方がよいのではないか。(財政課)
7	2	市民意向調査では、行政サービスに対する満足度は他の施策に比べ低くなっています。		「行政サービス」と「他の施策」の違いがよく分からない。(広報秘書課) ※平成20年度市民意向調査では「行政サービス」の満足度の設問はない。
7	7	日本経済は安定成長期に入り、		現在は、安定成長期か。(財政課)
7	16	【参考(コラム)】市民意向調査		記述の説明(「上位回答」など)がないと分かりにくい。(広報秘書課)

第 4 次小金井市基本構想についての意見

H21.11.18 鮎川志津子

第 4 次基本構想（素案）について、私見を述べさせていただきます。

「社会潮流と小金井市の現状(特徴と課題)」について**(2) 市の現状 E 行政サービスと行財政改革（資料 67 P6）**

「全国に先がけた学校の耐震化」との言葉がありますが、「学校の耐震化工事の完了」くらいの表現ではいかがでしょうか？

元々は、小金井市の学校の耐震化の完了が進んでいることを申し上げたのは、私でございますが、全国に先がけたというと、かなり先進的な印象が強いかと思いました。

「5 施策の大綱」について**③「豊かな人間性と次世代の夢をはぐくむまち（文化と教育）」**

学校教育に「緑化」と追加することを提案した理由は、下記のとおりです。

小金井市の特徴であり、将来像にも掲げられている「緑」について、学校においても推進すべきことと思いました。

二小校庭の全面芝生化だけでなく、幾つかの学校で緑のカーテン（ヘチマやゴーヤ等）も実施されています。（緑小学校 HP をご参照下さい。）

以下、一市民としての私見です。

学校の緑化を推進することによる教育的効果ももちろんですが、地域社会との絆を深めることにもつながると思います。

- ▶ 鴨下委員のご意見にもありましたが、緑化について、小金井の農業のプロの方のご指導を頂くこと
- ▶ 緑の維持に地域の方々のお力をお借りし、子供たちと触れ合う機会を増やすこと
- ▶ 学校職員や子供たちだけでは手入れが難しい時など、シルバー人材センターの方々のお力を頂くこと

以上

長計審への意見

2009年11月20日

町田裕紀

資料 6 7 「第 4 次小金井市基本構想（素案）」第 6 項「施策の大綱」②「ふれあいと活力のあるまち（地域と経済）」のうち、「■コミュニティネットワーク」に関し、ご意見を申し上げます。

1 補助金制度について

目玉となる施策として、市民及び市民団体等が公益性の高い事業を行う場合、事業費の一定割合を市が負担する制度を導入してはどうか。

2 目的

市民が公益性の高い事業を行う場合、ハードルとなるのが事業費の確保である。そこで、市民の公益活動を支援するため、その経済面での市のバックアップが望ましい。市民の主体的活動を尊重しながら、行政がその資金面でバックアップするのが望ましい。

3 文言の修正

「■コミュニティネットワーク」の一部を、下線部の通り、修正したい。

「NPO等の市民活動の拠点として（仮称）市民協働支援センター等を整備し、また、補助金制度等により経済面からも市民の自主的な活動を支援するとともに・・・」

以上

第 4 次小金井市基本構想（素案）修正案

1 基本構想の目的と策定意義・役割

（4 段落目下から 2 行目）

緑の保全と拡充

→みどりの保全と拡充

（ページ下部に追加）

*参加・・・市が行う施策に対して市民が関与すること

協働・・・市民が主体となっているイベント等に対して市が関与すること

2 基本構想の枠組み

（3）土地利用の現状

③ 農地・生産緑地

農用地の占める割合は 1 割弱と非常に低いものとなっております、

→農用地の占める割合は 1 割弱となっております、

保の役目を果たしています。

④ 公園・緑地等

公園・緑地等は年々減少する傾向にあります。（冒頭に追加）

また、特別緑地保全地区として滄浪泉園が指定されています。

→されており、

東京農工大学などまとまったみどりがありますが、

→あります。

中心部ではみどりの減少が目立っていました。

→一方、緑地等は、特に中心部でみどりの減少が目立っています。

（3）財政状況

「本市の現状」に統合

3 社会潮流と小金井市の現状（特徴と課題）

（1）市の現状（主要な特徴と課題）

特徴を活かしたまちづくりを進める必要があります。

→特徴を生かしたまちづくりを進めていきます。

A みどりと環境衛生

【特徴】みどり豊かで良好な住環境

(文章の最後に追加)

加えて、1人当たりのごみの総排出量の抑制や資源化への取り組みは近隣市に比べても進んでいます。

【課題】みどりの保全と拡大・ごみ対策

市内のみどりは %減少しています。

→市内のみどりは減少しています。

B まちづくり（都市基盤整備とその活用）→駅周辺を中心としたまちづくり

【特徴】便利な市内外へのアクセス

本市は中央線で都心まで約30分

→本市は中央線で都心まで約25分

C 子ども・高齢者・障害者

【特徴】元気な高齢者と充実した教育環境

「こきんちゃん」を活用した運動を展開しています。

→「こきんちゃん」を活用した施策を展開していきます。

【課題】子育て支援、高齢者・障害者福祉

さらに、障害者福祉について、ノーマライゼーション

→さらに、障害者福祉については、ノーマライゼーション（障害者、健常者ともに同じ条件で生活をおくることができる社会に改善していこうという営み）

D 参加と協働の推進

【課題】市民との協働の推進→一層の参加と協働の推進

市民活動が活発化する一方で、

→市民活動が活発化し、市民の参加と協働は進んできていますが、一方で、

(文章の最後に追加)

また、市民が主体となって行われている様々なイベント等に対し、市が関与することでより充実した内容となり、様々な情報をわかりやすく市民に伝える仕組みづくりが課題となっています。

E 行政サービスと行財政改革

【課題】多様な住民ニーズへの対応と行財政改革

一方で、日本経済は安定成長期に入り、

→本市の財政状況については、一時期は危機的な状況にありましたが、財政健全化に向けた全市的な取組により、一定の改善が図られました。しかし、日本経済は安定成長期に入り、

4 まちづくりの基本姿勢

参加する主体が足並みを揃えて

→市、市民、企業等が足並みを揃えて

(ページ末)

「最適」についての説明を削除

5 小金井市の将来像

(1) 将来像

この基本構想では、平成32年度（2020年度）における本市の将来像を、

みどりが萌える・子どもが育つ・絆を結ぶ 小金井市

とします。

みどりが萌える・・・豊かなみどりは本市の大きな特徴です。市民もみどりを積極的に育んできましたが、それでも近年は減少しています。第4次基本構想では、みどりを増やすことを目標とし、第3次基本構想の将来像「元気です、燃えるみどりの小金井市」の理念を継承し、更に発展させていきます。

子どもが育つ・・・「子どもが元気なまちが発展する」が合言葉です。本市は、子どもにとっては、みどりが多く、教育活動が活発と理想的な環境です。親にとっても都心へのアクセスが良いこと等より仕事と家庭の両立がしやすく、世代間交流や子供向け地域イベントも盛んです。一方で、出生率は1.00（平成19年）と近隣市と比較しても低く、課題となっています。第4次基本構想では、教育活動や保育サービスを拡充し、世代間交流や地域全体で子どもを見守る施策を更に進め、次世代の夢を育み、まち全体を発展させます。


絆を結ぶ・・・本市では市民活動が活発であり、様々なイベント等が開催され、参加と協働も近年では進んできています。一方で核家族化による地域交流の希薄化も進んでおり、より一層の参加と協働の推進には課題もみられます。多様化・高度化する市民ニーズに対応するためにも、第4次基本構想ではわかりやすい情報発信を進め、参加と協働を更に進め、市民の絆、地域の連帯を深めます。

そして、市民が「住みやすい」「住み続けたい」と思い、「住んでみたい」と思われるまちへ。

将来像実現を測る基本的な指標として、「住みやすさ」の向上と「住み続けたいと思う市民」の増加を目指します。

(2) 将来像実現のための施策の大綱（4つの柱）と重点施策（5つのプロジェクト）

社会潮流と市の主要な特徴と課題、まちづくりの基本姿勢を踏まえ、本市の将来像「みどりが萌える・子どもが育つ・絆を結ぶ 小金井市」を実現するために、施策を体系的・網羅的に展開する「施策の大綱（4つの柱）」と4つの柱を貫いて重点的に施策を展開する「重点施策（5つのプロジェクト）」を定めます。

社会潮流	環境問題の深刻化 (自然)	経済の成熟化 (経済)	少子高齢社会の進行 (人口)	価値観の多様化 (社会)	地方分権の推進 (制度)
重点施策 (市の主要な特徴と課題)	みどりと環境衛生	駅周辺を中心としたまちづくり	子ども・高齢者等施策	計画の推進	
				市民参加・協働の推進	行政サービスの充実と行財政改革
①環境と都市基盤	◎	◎	○	◎	○
②地域と経済	○	◎	○	◎	○
③文化と教育	○	○	◎	◎	○
④福祉と健康	○	○	◎	◎	○
					
将来像 「みどりが萌える 子どもが育つ 絆を結ぶ 小金井市」 の実現へ					

◎施策の大綱と重点施策が特に関連する分野 ○関連する分野

A. 施策の大綱（4つの柱）

① みどりあふれる快適で人にやさしいまち（環境と都市基盤）

② ふれあいと活力のあるまち（地域と経済）

活発な市民活動は本市の特長であり、→特徴であり、

③ 次世代の夢と希望をはぐくむまち（文化と教育）

充実した教育活動は本市の特長です。→活発な教育活動は本市の特徴です。

④ 誰もが安心してくらす思いやりのあるまち（福祉と健康）

活発で健康的な高齢者が多いことが本市の特長です。→特徴です。

B. 重点施策（5つのプロジェクト）

5つの重点プロジェクトは、施策の大綱で示した4つある柱を貫いて重点的に施策を展開するもので、社会潮流や市の主要な課題と特徴を踏まえ、①みどりと環境衛生 ②駅周辺を中心としたまちづくり ③子ども・高齢者等施策 ④市民の参加と協働の推進 ⑤行政サービスの充実と行財政改革 の5つとします。詳細は各分野の施策及び前期基本計画にてプロジェクトの内容等を明らかにします。

5 施策の大綱

①みどりあふれる快適で人にやさしいまち（環境と都市基盤）

■ みどりと水 ■

みどりをはぐくむしくみづくりを進めます。

→みどりを育む仕組みづくりを進め、みどりを増やします。

■ 道路・河川 ■

野川・仙川については、より一層の治水対策とともに、市民が憩う浸水の場として、

→野川・仙川については、市民が憩う親水の場として

②ふれあいと活力のあるまち（地域と経済）

■ コミュニティネットワーク ■

また、コミュニティポータルサイトなどにより、地域での生活・活動に関する情報を総合的に提供する場の整備を促進し、チッキ連携のための地域情報ネットワークの推進を図ります。

↓

また、市民活動や様々なイベント（スリーデーマーチや科学の祭典、わんぱく夏祭りなど）の地域情報等を総合的に整理したコミュニティポータルサイト（地域情報ネットワーク）等を整備し、市民活動の内容や参加方法が市民および市外の人にわかりやすく、身近なものとなり、人々の絆や地域の連携のための基盤づくりを進めます。

■ 商業 ■

商業振興を計画的に推進し、駅周辺や商店街の環境整備を図ると共に、市民ニーズを把握して、新たな出店・サービスを拡充して、地域を支え、地域に支えられる魅力的な商業・商店街づくりを進めます。

↓

商業振興モデル地区の指定と他地域への展開などにより、商店や商店街を中心に活力とふれあいのあるまちづくりを実施します。また、商業振興を計画的に推進し、駅周辺や商店街の環境整備を図るとともに、市民ニーズを把握して、新たな出店・サービスを拡充して、地域を支え、地域に支えられる魅力ある商業・商店街づくりを進めます。

③豊かな人間性と次世代の夢をはぐくむまち（文化と教育）

■ 生涯学習 ■

大規模な図書館中央館→図書館

■ 幼児教育 ■

重要な役割を担う家庭での幼児教育を支援するため、親と子のための講座や親に対する相談事業を充実するとともに、

↓

重要な役割を担う家庭での幼児教育を支援するため、幼稚園と保育園などの連携を基に地域社会一体となった幼児教育を推進し、親と子のための講座や親に対する相談事業を充実するとともに、

また、幼稚園の安定的存続のために運営面・管理面での助成を行うとともに、幼稚園児の保護者負担軽減のため、補助制度を継続し、国や東京都へ現行制度の拡充を要請します。

↓

また、幼稚園の安定的存続のために、保育の観点などを含む保護者や子どもたちのニーズを的確に把握し、人材の育成等、運営面・管理面での適切な対応を実施するとともに、幼児教育に対する支援に努めます。

④誰もが安心してくらする思いやりのあるまち（福祉と健康）

■ 子ども家庭福祉 ■

出生率や年少人口比率の低下を改善させることは喫緊の課題であり、保育士など保育に携わる人材の育成や待機児童の解消等、保護者や子どもたちのニーズに合った保育サービスの拡充、相談体制・情報提供等の充実を図り、誰もが安心して子育てができるよう、子育て家庭の支援を進めます。

また、子どもの健やかな成長のために、子どもの権利が守られ、子どもがさまざまな体験と仲間づくりができる場を整備する。子ども施策に当たってはそれらへの計画段階からの子ども自身の参画を進める等の（※お客さんとしてではなく子ども自身が主体的に関わるという視点）子育てを支援します。また、学校や図書館、児童館、学童、保育園などの施設の活用や地域との連携等により子どもや子育て環境の充実と、家庭の安全で安心な環境づくりを推進します。

第 4 次小金井市基本構想についての意見

H21.11.23 鮎川志津子

第 4 次基本構想について、意見を述べさせていただきます。

「市の現状」について**【特徴】元気な高齢者と充実した教育環境 P6**

また、教育は学校教育のみならず、生涯学習を含めた地域や家庭との連携と努力により、社会全体で子どもを支える体制の整備を進めた結果、都内でも上位に位置する学力を誇っています。

↓
「充実した学校教育に加えて、」は、いかがでしょうか？

「施策の大綱」について**③豊かな人間性と次世代の夢をはぐくむまち（文化と教育） P16-17****■ 幼児教育 ■**

重要な役割を担う家庭での幼児教育を支援するため、幼稚園と保育園の連携をもとに地域社会一体となった幼児教育を推進し、

↓
三橋職務代理者のお考えが「幼稚園と保育園が連携する」という意味か
「家庭や地域と幼稚園・保育園が連携する」という意味かお聞きし忘れしました。
後者でしたら、幼稚園や保育園の連携の方がわかりやすいと思いました。

以上

*第 4 次小金井市基本構想（素案）

みどりが萌える・子どもが育つ・絆を結ぶ 小金井市

1 基本構想の目的と策定意義・役割

私たちは憲法に保障された地方自治の本旨にのっとり、市民のしあわせを増進することを目的に小金井市基本構想を策定します。

少子高齢社会の進行、価値観の多様化、経済の成熟化、環境問題の深刻化、地方分権・自治の進展などにより、取り組むべき行政需要は、量的拡大と共に多様化、複雑化、高度化しています。

このような社会潮流のもと、私たちは、平成 13 年 3 月に策定した「第 3 次小金井市基本構想」を市政活動の指針として、総合的かつ計画的なまちづくりを進めてきました。武蔵小金井駅南口での駅周辺のまちづくりにより市民の利便性は向上し、各種条例の制定に見られる市民の参加・自治による制度づくりなどが進展しました。

また、本市は、水とみどりに恵まれた良好な住環境や便利な市内外のアクセスを有し、元気な高齢者が多く、教育環境が充実し、市民の自治・参加意識が高いという特徴があります。一方で、減り続けているみどりの保全と拡充、新ごみ処理施設や新市庁舎の建設、駅周辺開発や道路をはじめとする都市基盤の整備、少子高齢化などへの対応など、課題も山積しています。

このような現状に最適に対応して、市民のしあわせの増進を実現するためには、市民ニーズを的確にとらえ、目指すべき将来像を共有し、地域の独自の資源を活用したまちづくりを、一層の「参加と協働」によって推進することが必要になります。ここに、第 3 次基本構想の目標年次の到来を機に、新たな基本構想を策定する意義があります。

【基本構想の役割】

- (1) 第 3 次小金井市基本構想の将来像で示した理念を継承し、発展させることを基本として策定するものです。
- (2) 市政活動の総合的かつ計画的な取組の指針となるものです。
- (3) 市民、団体及び事業者が、地域社会において活動をする際の指針となるものです。
- (4) 国、東京都、企業などに対し、本市が目指すまちづくりへの理解と積極的な協力を得る指針となるものです。

*参加…市の政策立案、実施及びその評価に、広く市民の意見を反映させるため、市民が市政に参加すること。

*協働…市民及び市が、お互いを尊重し理解して、それぞれの役割と責任に基づき、対等の立場で連携協力して、市民生活を充実させること。

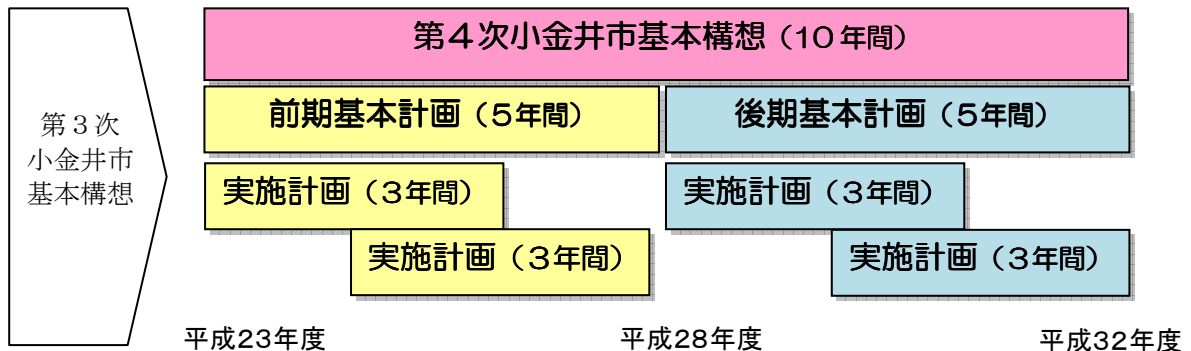
2 基本構想の枠組み

基本構想では、以下の枠組みを前提として、私たちを取り巻く情勢や私たちが住む小金井市の特徴と課題を踏まえて、将来像と施策の大綱を明らかにします。

(1) 目標年次

第4次小金井市基本構想は、平成23年度（2011年度）を初年度として、平成32年度（2020年度）を目標年次とします。さらに、この基本構想を具体化するために、前期基本計画（平成23～27年度）、後期基本計画（平成28～32年度）及び実施計画を策定します。

なお、目標年次までの間に社会経済情勢などに著しい変化が生じた場合は、必要に応じて改定します。



(2) 人口予測

おおむね12万人と予測します。

ただし、住民基本台帳による人口予測では、平成35年度（2023年度）以降減少になることが考えられますが、この人口減少にも的確に備えるものとします。

(3) 土地利用の現状

本市は、おおむね4km四方で、面積は11.33km²です。全体の約6割を宅地（公共用地・商業用地・工業用地を含む₂）が占めており、農用地、公園・緑地は合わせて2割弱、残りの約2割が道路などとなっています。

東西・南北の主要な道路が人と物の動線となると共に、駅周辺には商業施設が集積するなど、生活利便性の高い地域構造となっています。また、南北の大規模な都立公園と玉川上水・野川が潤いの空間を形成しています。

① 商業・業務地

本市全体の約6割を占める宅地面積のうち、商業用地として利用されている割合は、6%強に過ぎず非常に低いものとなっています。

市内には、駅周辺を中心として住宅地に近接して17の商店街が広がっています。駅周辺の地域では、まちづくりの進展により、土地の高度利用が図られつつあります。

② 住宅地

宅地面積に占める住宅用地の割合は約7割と非常に高いものとなっています。都市計画では、住居専用地域・住居地域は合わせて9割を占めています。そのうち、第一種低層住居専用地域が7割弱と、多摩26市平均よりも高く、閑静な住宅地となっています。

③ 農地・生産緑地

農用地の占める割合は1割弱となっており、経営耕地面積及び生産緑地は年々減少する傾向にあります。

一方では、野菜・果物や植木などが栽培されると共に、市民に土とみどりのうるおいを与え、子どもにとっては教育の場となり、災害時には安全確保など、多面的な役目を果たしています。

④ 公園・緑地

本市の面積のうち、公園・緑地の割合は1割弱となっています。都市公園・市立公園の面積は微増しましたが、緑地全体は大きく減少しています。

市の外周部に小金井公園や武蔵野公園、東京学芸大学や東京農工大学などまとまったみどりがありますが、中心部ではみどりの減少が目立っています。そこで武蔵小金井駅南口第1地区第一種市街地再開発事業、東小金井駅北口土地区画整理事業では、みどりの創出を踏まえた整備が進められています。

3 社会潮流と小金井市の現状（特徴と課題）

* 数値に関する表現及び並び方（特徴と課題を分けるかどうか）については、検討します。

また、重点施策（プロジェクト）との関係も要整理

（1）社会潮流

今、社会を取り巻く環境は大きく変化しています。このような社会潮流を認識した上で、将来の本市のまちづくりを進めていきます。

● 少子高齢社会の進行

我が国の合計特殊出生率は、1.34（平成19年）と先進国の中でも最も低い水準であり、高齢化率は22%（平成20年）と過去最高を更新し、中長期的にも少子高齢化はさらに進むと予測され、福祉・教育・労働・社会保障などあらゆる面での影響があると考えられます。

一方で、団塊の世代の大量退職や高齢者の増加により、新たな需要が創出されると共に、地域社会の担い手の役割も期待されています。

● 価値観の多様化

グローバル化により社会経済活動が地球的規模で展開されるなか、国際化や生活水準の向上などにより個人の価値観やライフスタイルの多様化が見られます。また、社会貢献に対する意識の高まりや、元気な高齢者の増加などにより、市民活動や地域独自の活動が活発化しています。

● 経済の成熟化

経済の成長率は1990年代以降の平均で約1%、経済活動が成熟化してきた中で、今後も右肩上がりの高成長経済を見込むことはできず、持続的成長を目指していく経済構造の中で、新たな価値を創造し、雇用の安定を図り、生活の質を向上させていくことが求められています。

● 環境問題の深刻化

より快適で便利な生活を追求してきた一方、身近な自然が失われつつあり、森林の減少や大気汚染、温暖化などは、地球規模の問題となっています。地球環境を守り、次世代に引き継ぐために、産業構造の転換、廃棄物の発生抑制、リサイクルなどを進めると同時に、緑を守り育て、環境に優しい循環社会の構築に向けた取組が求められています。

● 地方分権・自治の進展

社会経済環境の変化により地方分権改革は進展し、これまで以上に地方自治体の権限の強化や財源の拡充により、多様化する市民ニーズへのきめ細かい対応が期待される一方、「参加と協働」を推進し、自律した自治体経営を行っていくことが責務となっています。

(2) 市の現状（主要な特徴と課題）

私たちの住む小金井市には、様々な特徴と課題があり、まちづくりを進めていく上では、社会潮流を踏まえ、課題を解決しつつ、特徴をいかしたまちづくりを進めていきます。

A みどりと環境衛生

【特徴】みどり豊かで良好な住環境

本市は野川、玉川上水や国分寺崖線、武蔵野公園、野川公園、小金井公園など、豊かな水とみどりに恵まれています。雨水浸透ますの設置比率は世界一であり、野川流域では都内で唯一の自然再生事業の指定を受けるなど、私たちはこれらの貴重な自然を守り育ててきました。

また、市域に占める宅地の半分近くが第一種低層住居専用地域となっており、みどり豊かで良好な住環境を形成しています。加えて、1人当たりのごみの総排出量の抑制や資源化への取組は、近隣市に比べても進んでいます。

【課題】みどりの保全と拡大・ごみ対策

第3次基本構想の計画期間を通じて、みどりの保全と拡大を進めましたが、市内の緑地と農地は減少しています。こうした傾向を改善するため、現在あるみどりを保全すると共に、新たなみどりを創出する必要があります。

また、市内から発生する可燃ごみについては、老朽化が進行した二枚橋焼却場の運転停止により、その全量を多摩地域の各団体の支援に基づき、焼却処理をお願いしています。

このため、安定的かつ確実にごみ処理を行うことができるよう、建設場所周辺住民との信頼関係を重視しつつ新ごみ処理施設の建設に着実に取り組み、一層のごみの減量を推進することは市政の最重要課題となっています。

B 駅周辺を中心としたまちづくり

【特徴】便利な市内外へのアクセス

本市は中央線で都心まで約25分という場所に位置し、約4km四方と入り組みが少ないコンパクトな地形となっており、比較的発達した路線バス網が整備されています。また、平成21年度中に中央本線上りの高架化が完成し、踏切による慢性的な交通渋滞の解消や、鉄道により南北に分断されていたまちの一体化が実現しています。

【課題】駅周辺開発、道路などの整備とその活用

平成21年3月に武蔵小金井駅南口第1地区市街地再開発事業の「まちびらき」が行われましたが、今後更に利便性の高い生活環境を整備するため、コミュニティ広場や（仮称）市民交流センターの活用、商店街の活性化など、ソフト面での取組が求められます。また、第2地区の再開発の着実な事業化や東小金井駅北口土地区画整理事業の地権者などの協力を得ながらの推進が求められています。武蔵小金井駅北口及び東小金井駅南口の再整備については、市民の意向を踏まえて進めていく必要があります。いずれも財政状況を見通した確実な財政計画の裏付けが必要となります。

都市計画道路の整備については、基幹道路の拡幅整備などにより、円滑な交通と市民の安全確保や利便性を高めると共に、周辺住民の防災対策の向上、地域経済の振興につなげていく必要が

あります。

C 子ども・高齢者・障害者

【特徴】元気な高齢者と充実した教育環境

市民の平均寿命の長さやシルバー人材センターの組織率は全国でもトップクラスです。また、教育は学校教育のみならず、生涯学習を含めた地域や家庭との連携と努力により、社会全体で子どもを支える体制の整備を進めた結果、都内でも上位に位置する学力を誇っています。

「こどもが元気なまちが発展する」を合言葉に市のイメージキャラクター「こきんちゃん」を活用した施策を展開しています。

【課題】子育て支援、高齢者・障害者福祉の充実

本市の合計特殊出生率は1.00と多摩26市中25番目（平成19年）となっており、15歳未満の年少人口も他自治体と比べて低下が進行しています。待機児童の解消や保育サービスの充実、適正規模の学童保育のための環境整備などが課題となっています。

また、高齢者数が過去20年で倍増しており、元気な高齢者が要介護状態になることの防止、就業支援などによる高齢者の生きがいつくり、今後も安心して暮らせる環境づくりなどが課題です。

さらに、障害者福祉については、ノーマライゼーションやバリアフリーの推進、就労支援の更なる強化などが求められています。

*ノーマライゼーション…障害者、健常者と共に同じ条件で生活をおくることができる社会に改善していこうという営み。<障害福祉課と調整>

D 参加と協働

【特徴】活発な市民活動

小金井市内にはNPO法人は56（平成19年）を数え、そのほかにも多くの市民活動団体などが様々な分野で活動しています。また、市と市民活動団体などとの相互の連携・協力を進めるため、小金井市協働推進基本指針を策定しています。市の重要な施策を実施するに当たっては、市民参加条例に基づき、住民参加による推進が実施されており、まちづくり条例・環境基本条例などの市民参加による制度づくりなどが進展しています。

【課題】参加と協働及び公民連携の推進

市民活動が活発化し、市民の参加と協働は進んできていますが、核家族化による地域交流の希薄化、町会・自治会の加入者の減少など、地域とのつながりが薄い市民も多い状況です。市民ニーズを把握するためにも、情報公開をより一層進め、市民の自治意識を更に高め、多数の市民の意見を市の施策に反映させていくことが課題となっています。

E 行政サービスと行財政改革

【特徴】特徴ある行政サービスと財政状況の改善

世界一の設置率である雨水浸透ます、早期に完了した学校の耐震化や「こきんちゃん」を活用したあいさつ運動など、特徴ある行政サービスを実施しています。また、市の財政の危機的状況

を脱却し、経常収支比率が多摩 26 市の平均的な水準まで回復しており、財政状況は改善されつつあります。税収に占める個人市民税の割合が高く、法人市民税などに比べて、経済情勢の影響を受けにくく、税収が比較的安定しています。

【課題】多様な住民ニーズへの対応と行財政改革

社会経済環境の変化により、行政需要は量的拡大に加え、質的にも多様化・高度化する一方、市民意向調査では、行政サービスに対する満足度は他の施策に比べ低くなっています。公的施設が未整備又は老朽化していることなどが懸案の一つですが、よりきめ細かく住民ニーズに対応するためには、民間活力の導入や市民との協働を進め、行財政改革を推進することも課題となっています。

一方で、日本経済は安定成長期に入り、人口減少に伴う経済活動停滞の懸念など、外部環境は厳しさを増しています。本市においても高齢化に伴う福祉分野での負担増の一方、市民の課税所得の低下が市税収入減少につながる恐れがあり、計画的な行財政運営を行うことが必要です。

また、駅周辺のまちづくり、新ごみ処理施設や新市庁舎の建設、さらには平成35年（2023年）頃からと見込まれる人口減少や施設の老朽化、金利の上昇（地方債残高の抑制）にも備えていく必要があります。

【参考（コラム）】市民意向調査

○住み続けたい

→A 自然環境が良い、B 都心への交通の便が良い

○移転したい

→E 公共・公益施設、行政サービスが充実していない、B 買物が不便

○重要度大・満足度高の施策

→A.緑と水の保全の拡大、A(B)水道水の安全供給

○重要度大・満足度低の施策

→B 道路安全性向上とバリアフリー化、A.ごみの減量・再資源化、C だれもが安心して子育てできる体制の整備、
E 財政の健全化

【第3次基本構想の評価】

ほとんどの施策で進捗が見られ、全体的には市民の満足度は高まってきている。

一方で施策別にみると、市民意向調査の結果やデータブックによれば、、、

4 まちづくりの基本姿勢

基本構想に関する取組は、この基本姿勢に基づいて実践します。これにより、基本構想の目指すべき方向の実現に向けて、市、市民、団体及び事業者が足並みを揃えて行動することを可能にします。

① 市民生活優先のまちづくり

まちづくりは、私たち市民の「しあわせな生活」を実現するものです。

私たちは、市民ニーズに基づいて共に考え、市民の生活を守り安定・発展させることを最優先にしてまちづくりを進めます。

② 参加と協働によるまちづくり

まちづくりは、市、市民、団体及び事業者の「参加と協働」により実現されるものです。

私たちは、人と人との絆をいかした、参加と協働による創造的なまちづくりを進めます。

③ 総合的なまちづくり

まちづくりは、小金井市の地域特性を踏まえて総合的に行われるものです。

私たちは、環境変化に最適に適応し、地域特性や一人ひとりの状況、事情を踏まえて、総合的、計画的に行います。

※最適：小金井市において、住民のニーズに応じた最適の政策の形成や統合が可能な状態を目指すことを指している。＜淡路委員が案文を作成＞

5 小金井市の将来像

(1) 将来像

この基本構想では、平成32年度（2020年度）における本市の将来像を、

みどりが萌える・子どもが育つ・絆を結ぶ 小金井市

とします。

みどりが萌える・・・豊かなみどりは本市の大きな特徴です。市民もみどりを積極的に育ててきましたが、それでも近年は減少しています。第4次基本構想では、みどりを増やすことを目標とし、第3次基本構想の将来像「元気です、萌えるみどりの小金井市」の理念を継承し、更に発展させていきます。

子どもが育つ・・・「子どもが元気なまちが発展する」が合言葉です。本市は、子どもにとっては、みどりが多く、教育環境が充実しています。保護者にとっても都心へのアクセスが良いこと等より仕事と家庭の両立がしやすく、世代間交流や子供向け地域イベントも盛んです。一方で、出生率は1.00（平成19年）と近隣市と比較しても低く、課題となっています。第4次基本構想では、教育活動や保育サービスを拡充し、世代間交流や地域全体で子どもを見守る施策を更に進め、次世代の夢を育み、まち全体を発展させます。

絆を結ぶ・・・本市では市民活動が活発であり、様々なイベント等が開催され、参加と協働も近年では進んできています。一方で核家族化による地域交流の希薄化も進んでおり、より一層の参加と協働の推進には課題もみられます。多様化・高度化する市民ニーズを踏まえるためにも、第4次基本構想ではわかりやすい情報発信を通じて、参加と協働を更に進め、市民の絆、地域の連帯を深めます。

そして、市民が「住みやすい」「住み続けたい」と思い、「住んでみたい」と思われるまちへ。

将来像実現を測る基本的な指標として、「住みやすさ」の向上と「住み続けたいと思う市民」の増加を目指します。


【基本的な指標】

評価指標1：「小金井市の住みやすさの向上」

評価指標2：「小金井市に住み続けたいと思う市民の割合の増加」

(2) 将来像実現のための施策の大綱（4つの柱）と重点政策（プロジェクト）

社会潮流と市の主要な特徴と課題、まちづくりの基本姿勢を踏まえ、本市の将来像「みどりが萌える・子どもが育つ・絆を結ぶ 小金井市」を実現するために、施策を体系的・網羅的に展開する「施策の大綱（4つの柱）」と4つの柱を貫いて重点的に政策を展開する「重点政策（プロジェクト）」を定めます。 <重点施策の是非は事務局で検討>

社会潮流	環境問題の深刻化 (自然)	経済の成熟化 (経済)	少子高齢社会の進行 (人口)	価値観の多様化 (社会)	地方分権の推進 (制度)
重点施策 (市の主要な特徴と課題)	みどりと環境衛生	駅周辺を中心としたまちづくり	子ども・高齢者等施策	計画の推進	
				市民参加・協働の推進	行政サービスの充実と行財政改革
①環境と都市基盤	◎	◎	○	◎	○
②地域と経済	○	◎	○	◎	○
③文化と教育	○	○	◎	◎	○
④福祉と健康	○	○	◎	◎	○
					
将来像 「みどりが萌える 子どもが育つ 絆を結ぶ 小金井市」の実現へ					

◎施策の大綱と重点施策が特に関連する分野 ○関連する分野

<日本総研に作図依頼>

A 施策の大綱（4つの柱）

① みどりあふれる快適で人にやさしいまち（環境と都市基盤）

環境と都市基盤は、人々の暮らしや様々な地域での活動の礎となるものです。みどり豊かな自然環境は本市にとって最も大きな財産です。また、市民は、公共・公益施設の充実、ごみ問題、みどりと水の保全、施設と道路のバリアフリー化に高い関心を持っています。

みどりと水を守り育てつつ、駅周辺のまちづくりを進めることによって、自然環境と利便性が高いレベルで調和した、快適で人にやさしいまちづくりを進めていきます。

また、地域から地球環境を保全する取組、新ごみ処理施設の建設とさらなるごみ減量、市街地・住環境及び道路の整備、施設と道路のバリアフリー化などを推進します。

② ふれあいと活力のあるまち（地域と経済）

地域と経済は、いきいきとした暮らしを支えるものです。活発な市民活動は本市の特徴であり、市民は、防災・防犯などの地域の安全、商店街の活性化に高い関心を持っています。

市民活動をいかして、コミュニティの充実を図ると共に、地域を支え地域に支えられる産業づくり（創造的産業・商業・工業・農業）を進め、ふれあいと活力のあるまちづくりを進めていきます。

また、防災・防犯・危機管理などの安全な地域づくり、産学・商工農の連携、安心な消費生活支援などを推進します。

③ 豊かな人間性と次世代の夢をはぐくむまち（文化と教育）

文化と教育は、暮らしの豊かさを示すものであると共に、地域の将来につながるものです。充実した教育環境は本市の特徴です。また、市民は、学校教育施設と図書館などの生涯学習施設の整備に高い関心を持っています。

学校における教育活動及び学習環境をさらに高めると共に、図書館・公民館などの生涯学習の場の充実を図り、次世代の夢と希望をはぐくむまちづくりを進めていきます。

また、（仮称）市民交流センターなどを活用した文化・芸術の振興や、人権・平和・男女共同参画の取組、スポーツ・レクリエーションなどを推進します。

④ だれもが安心して暮らせる思いやりのあるまち（福祉と健康）

福祉と健康は、市民一人ひとりが安心して暮らしていくために欠かせないものです。活発で健康的な高齢者が多いことが本市の特徴です。また、市民は、医療体制、高齢者福祉の充実や、安心して子育てできる仕組みづくり、福祉のまちづくりに高い関心を持っています。

子育て・子育て支援を進めると共に、高齢者が生きがいを持って安心して過ごせる、だれもが健やかに安心して暮らせる思いやりのあるまちづくりを進めます。

また、ノーマライゼーション、障害者や低所得者・ひとり親家庭への福祉、健康相談などの保健活動や緊急時を含む医療体制の充実などを推進します。

B 重点施策

重点施策は、施策の大綱で示した4つある柱を貫いて重点的に施策を展開するもので、社会潮流や市の主要な課題と特徴を踏まえ、①みどりと環境衛生 ②駅周辺を中心としたまちづくり ③子ども・高齢者等施策 ④市民の参加と協働の推進 ⑤行政サービスの充実と行財政改革 の5つを基本とします。

詳細は各分野の施策及び前期基本計画にて重点施策の内容等を明らかにします。

5 施策の大綱

*重点施策（プロジェクト）との関係は要整理

①みどりあふれる快適で人に優しいまち（環境と都市基盤）

<現況と課題の概要>

本市は、野川、玉川上水や、国分寺崖線、武蔵野公園、野川公園、小金井公園など、豊かなみどりと水に恵まれており、市民と共にこれらの貴重な自然を守り育ててきました。しかしながら、本市のみどりは減少し続けています。生活環境においては、大量生産・大量消費・大量廃棄といった社会経済システムの下で進行した地球温暖化など、地球規模での環境問題が深刻化しています。このシステムを根本的に改め、身近な地域からの徹底したごみ減量化、再資源化が強く求められています。さらに、本市の可燃ごみを処理してきた二枚橋衛生組合が平成19年3月末にすべての焼却炉の運転を停止したことに伴い、安定的に可燃ごみを処理するため、新ごみ処理施設の整備が喫緊の課題となっています。

まちづくりにおいては、JR中央本線連続立体交差事業に併せて、駅周辺でのまちづくりと都市計画道路などの整備を進めてきました。JR中央本線連続立体交差事業の完成は目前に近づいており、それに連動した武蔵小金井駅・東小金井駅周辺の市街地整備及び都市計画道路などの整備や、公共交通体系の見直しなどが課題となっています。また、インフラや施設の耐震化・バリアフリー化などによる快適で安全な住環境づくり、下水道では耐用年数を迎える施設の更新に向けた取組が求められています。

■ みどりと水 ■

本市の豊かなみどりと水を守るために、市民の自然を守る心を高め、市民参加による公園・緑地づくりなど、みどりははぐくむ仕組みづくりを進めます。「はけ」や玉川上水などをはじめとする市内の水とみどりの保全に取り組むと共に、公園・公共施設・道路などの緑化を進めることにより、みどりのネットワークの形成を図り、ゾーンを増やします。

また、地下水の涵養と湧水の回復のため雨水の貯留浸透を進めることにより、清流の復活に取り組むだけでなく、さらなる水辺の創出を推進していきます。

■ 地域環境衛生 ■

環境への負荷を最大限軽減し循環社会の形成を図るため、市民・事業者・行政が一体となり、ごみ減量・再利用・再資源化の推進を図ります。

また、将来にわたり安定的な可燃ごみ処理を行うため、東京都及び関係団体と連携し国分寺市との共同処理に向けて周辺住民との信頼関係を重視しつつ、新ごみ処理施設の建設を推進します。また、同施設が稼働するまでの間は、多摩地域の多くの自治体並びに一部事務組合に可燃ごみの処理をお願いしなければならないことから、引き続き施設周辺にお住まいの皆さまや関係者のご理解をいただけるよう努めます。さらに、中間処理場については、施設の老朽化に対応し循環型社会の形成に資する施設として再整備を図ります。

まちの美化については、「ごみを捨てない」という教育と一体となった意識啓発や地域ぐるみの清掃活動、喫煙マナーの向上など、市民の協力を得て清潔で美しいまちづくりを推進します。

■ 人と自然の共生 ■

地域から地球環境を保全する取組を進めるため、地球温暖化対策の計画的な推進やクリーンエネルギーの導入促進などにより、環境に優しい仕組みづくりを進め、地球環境への負荷の軽減を図ります。

また、騒音など、都市型・生活型の環境問題については、市民、事業者、行政などが一体となって対策を講じると共に、測定・見守り体制の充実や生活環境問題に対する意識向上を図ります。

■ 市街地整備 ■

武蔵小金井駅周辺は、本市の玄関口にふさわしいまちとするため、引き続き、再開発などにより、商業・業務及び住宅との調和のとれた魅力ある文化性の高い市街地として整備します。

東小金井駅周辺は、土地区画整理事業などにより、東部地区の中心として一部に商業、業務機能を持たせた地区として整備を行います。

新小金井駅周辺は、みどりあふれる武蔵野公園、野川公園の玄関口として、みどりと水のネットワーク形成を進めるなど自然環境をいかした市街地を目指します。

J R中央本線連続立体交差事業完了後の高架下利用の推進を図ります。また、住民主体のまちづくりを支援します。

■ 住宅・住環境 ■

市民、事業者の参加・協力と、国・東京都との連携により、良質な住宅の供給を図ると共に、耐震化、防災・安全施設の整備や施設のバリアフリー化により、周辺環境と調和のとれた快適で安全な住環境の整備を図ります。

平成23年度末に東京都に完全に移管される上水道の緊急時の対応などに万全を期すると共に、下水道については、管路の耐震化・合流式下水道の改善・長寿命化対策など、維持管理の充実を図ります。

■ 道路・河川 ■

J R中央本線の関連側道、南北交差道路及び都市計画道路の整備、生活道路の安全性向上を進めると共に、道路の電線類地中化及び交通関連施設のバリアフリー化を推進し、人に優しい道路環境の整備を図ります。また、駅前広場の整備、バス輸送の充実、自転車駐車場の整備などにより、円滑で利便性に優れた交通環境の整備を促進します。

野川・仙川については、市民が憩う親水の間としての整備を東京都に要望します。また、用水路は、地域の状況に合わせて、清流復活や遊歩道化などを行います。

②ふれあいと活力のあるまち（地域と経済）

<現況と課題の概要>

本市では、NPOなどの市民活動は活発化し、スリーデーズマーチ科学の祭典やわんぱく夏祭りなどの様々なイベントが市民主体で実施されています。その一方で、核家族化による地域交流の希薄化などにより、町会・自治会の加入者の減少など、地域とのつながりが薄い市民も多くなっています。また、身近な犯罪の増加などにより、地域の安全・安心に対する期待が高まっています。

地域経済では、多摩26市平均と比較すると小売業・工業共に事業所数が少ないのが現状であり、本市の特性に合った創造的産業の育成や市民ニーズに合った商業の振興や住環境と調和した工業の振興が課題となっています。農業についても、農家数・経営耕地面積などが減少しています。また、産地偽装問題などによる消費生活における安全・安心が求められていると共に、経済の先行き不透明化などにより雇用不安が高まっています。

■ コミュニティネットワーク ■（※目玉となる施策、大学連携を考える。スリーデーズマーチや科学の祭典など、現在でも多数ある市民イベント更に盛りたてる施策も有効。）

市民活動団体などの市民活動の拠点として（仮称）市民協働支援センターなどを整備し、~~また、補助金制度などにより経済面からも~~市民の自主的な活動を支援すると共に、大学・企業・団体などの地域活動を促進し、参加と協働によるまちづくりを進めます。

また、市民活動や様々なイベントの地域情報などを総合的に整理したコミュニティポータルサイトなどを整備し、市民活動の内容や参加方法が市民及び市外の人にわかりやすく、身近なものとすることにより、人々の絆や地域の連携のための基盤づくりを進めます。

■ 地域安全 ■（※自助・共助を強調する）

計画的な防災、国民保護の推進と共に、さまざまな状況に対応できる危機管理体制を強化します。防災については、市民の防災意識の向上、自主防災組織などの防災体制の強化を図り、防災コミュニティづくりを進めると共に、防災機能の強化のため、消防団の設備・装備及び災害対策物資・設備の充実を図り、防災活動の拠点となる防災センターを庁舎の建設と併せて整備します。

防犯については、市民の防犯意識向上を図ると共に、地域での見守り活動などを推進し、地域ぐるみの防犯対策を推進します。

■ 創造的産業 ■（※法人市民税増収策、サービス産業振興、目玉となる施策を考える）

大学連携型起業家育成支援施設の活用などによる産業振興を計画的に推進し、ベンチャー・S OHOの支援や産業振興のための産業基盤を整備して、研究開発型の産業、情報・環境・福祉・健康などの成長産業、地域資源をいかしたコミュニティビジネスの育成・誘致を図ります。また、商工農業の情報交流・ネットワークの充実を図ります。

■ 商業 ■（※目玉となる施策、観光を考える）

商業振興モデル地区とその他地域への展開などにより、商店や商店街を中心に活力とふれあいのあるまちづくりを実施します。商業振興を計画的に推進し、駅周辺や商店街の環境整備を図ると共に、市民ニーズを把握して、新たな出店・サービスを拡充して、地域を支え、地域に支えられる魅力ある商業・商店街づくりを進めます。

また、地域の魅力を発信し、魅力あるイベントや地域資源をいかした観光を推進します。

■ 工業 ■

小規模な工場が住宅地に混在している状況を踏まえ、住環境との調和に配慮しつつ、大学連携型起業家育成支援施設を拠点とした産学官連携の取組などにより、経営及び高度技術化を支援し、地域産業のPRや地域との交流推進を図ります。

■ 農業 ■

農地を保全すると共に、市民やNPO団体などと協力しながら担い手の育成や、認定認証農業者制度を推進するなど、農業経営の安定化を図ります。また、農業情報発信拠点を整備し、江戸東京野菜など地元産農作物の産業化に努め、地場製品の流通を促進します。

さらに、農業者や農業団体・市民の協力により、食育の支援やふれあい農業の充実を図ります。

■ 消費者生活・勤労者の福祉 ■

安全・安心な消費者生活を支援するため、市民の消費生活意識の向上と正しい知識及び情報の普及を進めると共に、関係団体との連携により、相談事業の充実を図ります。

勤労者福祉については、市内は中小零細企業が多いため、勤労者福祉サービスセンターを通じて、福利厚生対策の充実と労働環境の向上を図ります。

■ 雇用 ■

創造的産業の育成・誘致や地域で暮らす上で不可欠な生活サポート産業の充実を図ることにより、雇用機会の促進・拡大に努めます。

また、就業の面と生きがい対策といった面から、高齢者の能力や経験を活用できる雇用の機会の確保を図ると共に、障害のある人の雇用を促進し、社会参加と自立を支援していきます。

③豊かな人間性と次世代の夢をはぐくむまち（文化と教育）

<現況と課題の概要>

市民文化については、芸術文化振興条例の制定、はげの森美術館の整備などを行うと共に、市民交流の場・芸術文化ホールである（仮称）市民交流センターの整備が進められています。人権・平和・男女共同参画では、非核平和都市宣言・男女平等都市宣言などを行い、平和講演会やこがねいパレットなどの取組を続けてきました。

生涯学習の分野では、読書や学習スペースを求める市民ニーズに対して、築40年近い本館をはじめとする図書館は、物理的に対応できていない状況が見受けられ、早急な対策が求められています。公民館・スポーツ施設についても、施設の整備が必要です。

学校教育は、家庭・学校・地域の連携と努力により、都内でもトップレベルの学力を誇ります（※背景となる落ち着いた教育環境・地域との関係、意識の高さ）。市内小中学校すべての校舎の耐震工事が完了した一方、校舎の老朽化への備えや機材及び設備の充実が課題となっています。また、学校と地域のさらなる連携が求められています。

幼児教育では家庭での教育への支援などが求められています。（*幼稚園の閉園（コミュニティへの影響）や保育園→幼稚園（幼保一元化）の踏まえた課題の設定、施策（柱立て）の検討があつてよいのではないかという意見あり）

■ 文化・芸術 ■

市民の参加と協働により、個性豊かな市民文化の創造、芸術文化活動の推進、歴史的文化の保全と継承など、総合的な文化振興を推進すると共に、文化施設である（仮称）市民交流センターやはげの森美術館を効率的に運営し、芸術文化事業を積極的に推進します。

また、都市間交流や、多文化共生社会の実現に向け、地域に居住する外国籍市民との交流を促進します。

■ 人権・平和・男女共同参画 ■

だれもが尊重され平和に暮らせる社会を目指して、人権の尊重、平和に対する意識啓発の充実を図ると共に、男女が共に自立し、性別にかかわらず個性と能力を發揮できる社会の形成に向けて、家族、学校、職場、地域などあらゆる場を通して男女共同参画を進めます。

また、女性の就業機会拡大のための環境整備や生涯を通じた男女の心身の健康支援の充実を図ります。市民のより充実した生活のために、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の実現を推進します。

■ 生涯学習 ■

生涯学習の計画的な推進により、市民ニーズを踏まえた図書館本館、公民館及び（仮称）貫井北町地域センターの整備など、活動の場の充実を図ると共に、人間性豊かな学びあいの地域づくりを目指して、生涯学習活動に対する支援、情報提供やネットワークの整備し、市民協働により生涯学習活動を推進します。

■ スポーツ・レクリエーション ■

市民のスポーツ・レクリエーション活動の多様なニーズにこたえる支援として、団体・組織の育成、各種スポーツ行事・教室の開催などにより、スポーツ・レクリエーション活動の振興を推進します。

また、平成25年の東京国体に伴うスポーツ・レクリエーション施設の整備や学校体育施設の活用、地域や近隣市との連携を通して、施設の活用を図ります。

■ 学校教育 ■

児童・生徒一人ひとりが夢を持っていきいきと学べるような学校教育を計画的に推進します。そのために、時代に即した教育内容はもちろんのこと、児童生徒及び教員の心と体のケアや教職員の研修の充実を図ります。

また、地域社会に開かれた学校の実現を目指すと共に、教育施設・教材などの整備・充実を図り、校庭の芝生化・緑化など、学習環境のさらなる整備・充実を進めます。

■ 幼児教育 ■（※子ども家庭福祉に含めるか、重点プロジェクトで対応するか）

重要な役割を担う家庭での幼児教育を支援するため、幼稚園と保育園の連携をもとに地域社会一体となった幼児教育を推進し、保護者と子どものための講座や保護者に対する相談事業を充実すると共に、図書館などにおける学習機会の拡大を図ります。

また、幼稚園の安定的存続のために、保育の観点などを含め保護者や子どもたちのニーズを的確に把握し、人材の育成等、運営面・管理面での適切な対応を実施すると共に、幼児教育に対する支援に努めます。

④だれもが安心してくらする思いやりのあるまち（福祉と健康）

＜現況と課題の概要＞

本市では、地域包括支援センターの充実など、介護保険事業の充実を進めてきましたが、高齢者数は過去20年間で倍増しており、高齢者の生きがいづくり、今後も安心して暮らせる環境づくりが課題となっています。子育てについては、15歳未満の年少人口比率は他の自治体と比べても低下が進行しており、待機児童の増加、家族形態や生活の多様化などに対する保育サービスなどの子育て子育て支援の充実が必要となっています。

また、ノーマライゼーション（要解説）の推進による高齢者・障害のある人も安心して暮らせるユニバーサルデザイン（要解説）を踏まえたまちづくりや、低所得者・ひとり親家庭福祉の充実、生活習慣病の予防や食育などによる健康づくりの推進が求められています。

■ 高齢者福祉 ■

元気な高齢者が社会に積極的に参加できるよう、活躍の場の拡充や世代間交流の促進を図ると共に、高齢者の安心・生活支援のため、身近な場所での相談体制やかかわりの必要な高齢者への支援体制の充実、関係諸機関とのネットワークの整備を推進します。

また、高齢者ができる限り元気に暮らせるよう、高齢者自身の参加による「小金井さくら体操」などの健康づくりや地域で支えあう仕組みづくりを進めると共に、支援や介護が必要となった高齢者には、状況に応じた適切なサービスを提供できるよう、社会全体で支える体制を整える介護保険事業の充実を図ります。

■ 子ども家庭福祉 ■

出生率や年少人口比率の低下を改善させることは喫緊の課題であり、保育士など保育に携わる人材の育成や待機児童の解消等、保護者や子ども達のニーズに合った保育サービスの拡充、相談体制・情報提供等の充実を図り、誰もが安心して子育てができるよう、子育て家庭の支援を進めます。

子どもの健やかな成長のために、子どもの権利が守られ、子どもがさまざまな体験と仲間づくりができる場（??要確認??）や機会の拡大を図り、子どもの自主性をはぐくむ子育てを支援します。また、学校、図書館、児童館、学童保育所や保育園などの施設の活用を推進すると共に、地域との連携などにより、子どもや子育て環境の充実と、家庭の安全で安心な環境づくりを推進します。

■ 障害者福祉 ■

障害のある人が尊厳を持ち、安心して、希望を持って社会生活が営めるよう、障害のある人などのニーズを十分に踏まえながらノーマライゼーションの推進を図ると共に、家族支援を含め、暮らしの保障・支援、教育・保育や障害福祉サービスなどの充実により、日常生活を支援します。

また、障害の早期発見と療育ができる体制整備や発達支援などの相談機能の充実を図ります。

■ 低所得者・ひとり親家庭福祉 ■

すべての市民が健康で文化的な生活を送ることができるよう、心身共にサポートし、生活困窮者を保護して適切な支援を行うと共に、就労などの自立の支援を進め、福祉の向上を図ります。

ひとり親家庭については、経済的自立と安定した生活を営めるよう、実情を把握して必要な支援を充実します。

■ 健康・医療 ■

市民自らが健康の保持と増進を図れるよう、健康教育や食育、健康相談などを充実すると共に、健康診査や予防接種などにより、疾病の早期発見と予防に努めます。

また、医療機関との連携と協力体制のもと、地域医療体制及び情報提供の充実やかかりつけ医の普及を進めると共に、福祉との連携を図り、だれもが安心して暮らせるよう、医療保障制度の拡充に努めます。

6 計画の推進

この基本構想は、私たち（本市）の将来像である「みどりが萌える・子どもが育つ・絆を結ぶ 小金井市」を実現して、小金井市のさらなる発展を目指すものです。将来像に向けて、4つの柱を推進するために、市民参加・市民協働、行政経営、計画的行政の推進、財政・財務の健全化を図ることが必要です。

<現況と課題の概要>

本市における選挙の投票率は都内・多摩平均と比較し高い傾向にあり、情報公開制度の利用や審議会などの公募委員への応募も増加しており、市ホームページには平成20年度で年間約290万件のアクセスがありました。このように小金井市は市民力が強く、潜在能力が高い市であり、今後の市政発展においては、市民との協働が大きなテーマとなり、職員の意識改革から市政運営の改革までが行政経営に求められています。

財政状況では、平成7・8年度に経常収支比率が全国ワースト1位になるなど、危機的な状況にありましたが、行財政改革の推進などにより一定の改善が図られました。しかし、経常収支比率などの財政指標はさらなる改善が必要であることに加え、さらに経済の先行きは不透明であり、少子高齢化に伴う税収減・行政需要の増加に伴う財政負担の増加に備える必要があるなど、計画的行政を推進すると共に、財政・財務のさらなる健全化や効率化が必要です。

■ 市民参加・市民協働 ■

市民意向調査・広聴活動の充実などによる市民ニーズの的確な把握を市政運営の起点とし、広報活動の充実や情報公開の推進と個人情報の適正な運用により、わかりやすい情報発信と堅実な情報管理を進めていきます。

また、市民参加条例に基づき、より多くの市民の参加が得られるよう、多様な市民参加を推進し、(仮称)市民協働支援センターの活用などにより市民協働を支える体制を整備し、市内団体・NPO・企業・大学などとの協働を推進します。

■ 行政経営 ■

公民連携などによる地域の力をいかした市政運営を目指して、リーダーシップと執行体制の充実や行政評価の拡充などにより、行政全体として最も効率的に効果を上げられる、自律した行政経営の確立を推進し、市民サービスの向上と行財政の健全化に努めます。

また、市民協働と効果的効率的な市政運営を進め、創造的なまちづくりに貢献できる人材の育成・活用と行政組織の活性化を図ります。

■ 計画的行政 ■

基本構想に基づいた総合的かつ計画的な市政運営を推進するため、施策の具体化とその実現方法を明らかにする「基本計画」、その事業と財政の裏付けを明らかにする「実施計画」を策定する

と共に、分野毎・課題毎の計画を体系的・総合的に策定します。

また、計画的施設整備の推進及び行政サービスの中核となる庁舎の建設を計画的に推進します。
さらに、広域行政を推進し、広域的に取り組むべき行政課題には、関係自治体との協力、連携を図りながら対応を進めます。

■ 財政・財務 ■

不透明な経済状況にあっても持続可能な財政基盤を確立し、財政・財務のさらなる健全化・効率化を図るために、長期的展望に立った計画的かつ効果的、効率的な財政運営を推進し、都市基盤整備などさまざまな施策による税収構造の改善など、自主財源の拡充に努め、地方分権の推進と地方税財政制度の改善を国や東京都に働きかけていきます。

さらに、企業会計手法の活用や分かりやすい財政・財務情報の提供に努め、人件費などの経常経費の削減や受益者負担の明確化・適正化を図ると共に、財源の的確な配分と効果的、効率的な執行に努めます。

施策の大綱・福祉と健康について

玉山京子
12月3日

子ども家庭福祉

① 少子化対策として必要なのは、保育サービスの拡充に関するだけでなく、ワーク・ライフ・バランス、男女共同参画など、関わってきています。特に多様な働き方、仕事と暮らしのバランスを、自ら考えられるワーク・ライフ・バランスの問題は大きいです。

② 子どもが様々な体験と仲間づくりができる場について。

子どもの自主性よりむしろ社会性、集中力、落とし所をさぐる力がつきます。

また学校をはじめとする諸施設の活用推進は当然として、子どもが様々な体験と仲間づくりができる場の整備は、大切な問題です。

今、子育て支援とは何か。衣食住が足り、なにも問題ないと思われる現代の子どもたち。けれど、現実には、諸問題が表面化しつつあります。小一プロブレム、いじめ、不登校、さらに育って引きこもりやニートへと発展していきます。一部かもしれないけれど、困っている子どもたち、困っている保護者たちは、確実に存在しています。

それらの問題は遊び場不足にも一因があるといわれています。

ちょうど、子どもの遊び場が整備され住宅になり不足していった1980年代と、子どもの行動が問題になってきている時期(その頃は、校内暴力の時期でしょうか)が、ほとんど一致しているからです。子ども時代にすべきことをできずに成長するのは、子どもによっては、大きく内面が育ち損ねてしまうようです。

もう、子どもたちから失われつつある三間(仲間、時間、場所=空間)と言われて20年ほどたちます。この、仲間や時間は、大人が買い与えることはできません。大人や行政が整備できるのは、空間、つまり場所だけなのです。予算や諸般の事情があるのはよく理解していますが、もちろんあるものを活用し、借りたり、さまざまな工夫や努力が必要になるでしょう。でも遊び場は子どもだけではなく、お年寄りの憩いの場、お母さんたちの情報交換の場、乳幼児広場事業なども、天候によっては開催は十分に可能になります。そして様々なイベントの場、防災拠点と多様な活用もできます。基本構想にビジョンとして取り入れるのに、私はとても適切だと考えています。

5 小金井市の将来像

(1) 将来像

私たちは、社会潮流や市の主要な特徴と課題を踏まえ、しあわせを増進するため、この基本構想における私たちのまちの将来像を、

みどりが萌える・子どもが育つ・絆を結ぶ 小金井市

とします。

みどりが萌える・・・潤いや安らぎ、快適さをもたらしてくれる豊かなみどりは私たちのまちの大きな特徴です。私たちはこれまでもみどりを積極的に育んできましたが、それでも近年は減少しています。第4次基本構想では、みどりを増やすことを目標とし、第3次基本構想の将来像「元気です、萌えるみどりの小金井市」の理念を継承し、みどりに代表される自然の創出を推進していきます。

子どもが育つ・・・「子どもが元気なまちが発展する」が私たちの合言葉です。私たちのまちには、まちの未来を担う子どもにとって、みどりが多く、教育環境が充実しています。保護者にとっても市内外へのアクセスが良いことなどから家庭と仕事の両立がしやすく、また、親世代や祖父母世代との世代間交流や子供向け地域イベントも盛んです。子どもにとってやさしく、楽しく、快適なまちは親世代・祖父母世代にとってもやさしく、楽しく、快適なまちです。第4次基本構想では、教育活動や保育サービスを拡充し、世代間交流や地域全体で子どもを見守る施策を更に進め、次世代の夢を育み、全ての世代のしあわせが増進する、まち全体の発展を目指します。

絆を結ぶ・・・私たちのまちはでは市民活動が活発であり、様々なイベント等が開催され、参加と協働が進んできています。多様化・複雑化・高度化する市民ニーズに対応するためにも、第4次基本構想ではわかりやすい情報発信を通じて、参加と協働を更に進め、市民の絆、思いやりのあるまちの連帯を深めます。

そして、私たちが「住みやすい」「住み続けたい」と思い、「住んでみたい」と思われるまちへ。

この将来像の実現を測る基本的な指標として、「住みやすさ」の向上と「住み続けたいと思う市民」の増加を目指します。

【基本的な指標】

評価指標1：「小金井市の住みやすさの向上」

評価指標2：「小金井市に住み続けたいと思う市民の割合の増加」

将来像の訂正提案

淡路

◆将来像

みどりが萌える、子どもが育つ きずなを結ぶ



【みどりが萌える】小金井

私たちのまちは、心にやすらぎと快適さをもたらすみどりの豊かさに特徴があります。第3次基本構想の将来像「元気です、萌えるみどりの小金井市」の理念を継承し、みどりに代表される貴重な自然を大切に、独自の風土（風・光・土・水）を創造します。

【子どもが育つ】小金井

私たちのまちは、まちの未来を担う子どもにとって、みどりが豊かで教育環境も充実しています。市民にとっても周辺へのアクセスが良いことから家庭と仕事の両立がしやすい環境があります。この育む場、学ぶ場の利点をさらに強化して次世代の夢を育み、そこから地域全体が活力と生きがいのある、「しあわせ」を感じられるまちを実現します。

【絆（きずな）を結ぶ】小金井

私たちのまちは、市民活動が活発で参加と協働が進んできています。「しあわせな生活」を実現するには、この参加と協働をさらに進展させ、人とのつながりや地域での思いやりのある支え合いを重視した連帯を拡充します。

こうして、私たちは「このまま住み続けたい」と思い、生まれた子どもたちは「生まれたまちで住み続けたい」と思う魅力と個性あるまちを目指します。

この将来像の実現を促進する基本的な指標として、「住みやすさの向上」と「住み続けたいと思う市民の増加」を設定します。

豊かな自然と良好な教育環境



- 提案意図 -

上記の提案内容の意図は下記になります。

- ・最初の「基本構想の目的」や「まちづくりの基本姿勢」で明記した重要概念である「しあわせ」との関連を明らかにする。
- ・この後の「4つの柱」とも関連させる。
- ・将来像といったビジョ的な文章であることから、現状分析的な説明部分を最少にした。分析的な表現が多いことは、今回の基本構想（ビジョン）全体の特徴の一つではあるが...

行政経営と最適の訂正

行政経営部分

参加と協働における公民連携などの地域力をいかした市政運営を目指して、リーダーシップと執行体制の充実や行政評価の拡充などにより、行政全体として最も効率的に効果を上げられる、自律した行政経営の確立を推進し、市民サービスの向上と行財政の健全化に努めます。

また、参加と協働による(市民協働の変更)効果的効率的な市政運営を進め、創造的なまちづくりに貢献できる人材の育成・活用と行政組織の活性化を図ります。

公民連携を「参加と協働」の一つの方法と考えて、「参加と協働」を入れる。ただ、公民連携に市民との協働も含まれていれば表現は変わる。

最適部分

最適：環境変化に対応した最も適切な状態を表し、ここでは小金井市において、住民ニーズに基づいた地域の特徴を活かした最適な政策の形成や統合の実現を目指す状態を指している。

みどりが萌える、子どもが育つ、絆を結ぶ



『4つの柱』を実現する
協働型自治体経営

誤字などをご容赦下さい。

11/24 12/3

市民懇談会の概要について

1 日時等

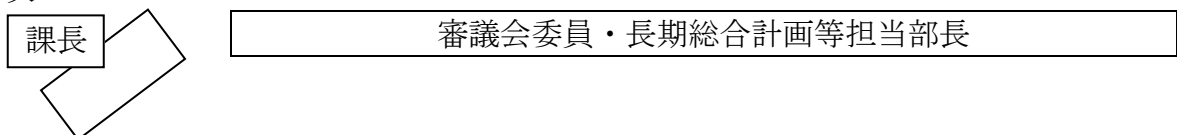
	第1回	第2回
日時	平成21年12月20日(日) 午前9時30分～午後0時30分	平成21年12月20日(日) 午後2時30分～午前5時30分
会場	東小金井駅開設記念会館 (マロンホール)	市民会館萌え木ホール (商工会館3階)
起草委員	武藤会長、三橋委員、玉山委員、 永田委員、渡辺委員、淡路委員	武藤会長、三橋委員、玉山委員、 永田委員、渡辺委員、淡路委員
その他委員	鮎川委員、五十嵐委員	鮎川委員

※長期計画審議会委員は、第1回又は第2回のどちらかに出席する。

2 タイムテーブル(進行:企画政策課長)

第1回 時間	第2回 時間	内容	担当者	
			第1回	第2回
09:30	14:30	開会	課長	課長
09:32	14:32	市あいさつ	未定	未定
09:35	14:35	会長あいさつ・趣旨説明	会長	会長
09:50	14:50	中間報告	起草委員	起草委員
11:20	16:20	質疑応答	起草委員	起草委員
12:25	17:25	閉会あいさつ	三橋委員	三橋委員
12:30	17:30	閉会	課長	課長

3 席次



4 主な内容

時間	項目	担当者	備考
20分	基本構想の全体像	武藤会長	概念図等で説明
20分	小金井市の将来像	三橋委員	社会潮流・市の現状
50分	「施策の大綱」の概要 (1)環境と都市基盤 (2)地域と経済 (3)文化と教育 (4)福祉と健康 (5)計画の推進	(1)永田委員 (2)渡辺委員 (3)鮎川委員 (4)玉山委員 (5)淡路委員	各分野10分

5 広報

- (1) 12月1日号市報(11月5日締切)、ホームページに開催記事掲載
- (2) 12月15日号市報(11月20日締切)、ホームページに中間まとめの記事掲載
- (3) 広報掲示板へのポスター掲示(12/7~12/20) ※ポスター12/4提出
- (4) 市ホームページ及び市施設での中間まとめの資料配布